

四国観光 第三弾

徳島県編①



四国の四県のうち、地理的にも、時間的にも、大阪が一番近いのが徳島県です。心齋橋駅から徒歩で3分、御堂筋沿いにある徳島県大阪本部（事務所4階）では、徳島の様々な情報を発信しています。また、事務所1階のアンテナショップ「とくしまの店」では、徳島県産品の販売も行っています。今回は徳島県の中でも鳴門地方の魅力についてご紹介いただきました。

大うず潮の見頃は3月（春）

徳島県を訪問するとき、大鳴門橋をわたり鳴門市から入る方が多いのではないのでしょうか。鳴門の名を冠したものは、うず潮、鯛、ワカメ、金時、蓮根、阿波踊り、大谷焼、大橋、海峡など、十指に余りません。

大鳴門橋は、淡路島の門崎と鳴門市の大毛島孫崎を結ぶ全長1629メートルの長大吊り橋、昭和61年に完成しました。瀬戸内海国立公園特別地域の景勝地をバックにそびえる姿はまさに勇壮。橋架下には海を飲み込むように渦を巻いている「鳴門のうず潮」が見られます。架橋記念館「エディ」はうず潮のメカニズムを知ることができる興味深い施設。鳴門海峡は、約1300メートルの幅の狭い瀬戸。この海峡を境にして潮の干満により、瀬戸内海側と紀伊水道側とに潮位の差が生じます。それが速い潮流となり、複雑な海底の地形とも相まってうず潮が出現とのこと。潮流は、普通、時速13kmから15kmですが、春と秋の大潮時には時速20kmにもなり、大きなうずは直径20mにも達します。大うず潮を見るのに最適なのが3月（春）。潮見表では6日から13日、21日から28日ぐらいが大潮に当たるので、観潮船からスリルを満喫するに絶好のタイミングです。

鳴門の風物の一つに鳴門ワカメがあります。採りたての生ワカメを木炭にまぶし、浜にムシロを敷いてその上に薄く並べます。朝干して夕方取り入れる方式の天日干し。灰干しにすることで、保存が利き栄養分が逃げなくなるそうです。製塩業も江戸時代から盛んに行われてきました。今は高島地区にある福永家住宅の塩田屋敷に製塩を営んでいた往時の姿をとどめています。石積み堀に囲まれて、母屋、土蔵、薪納屋が保存され、国の重要文化財にも指定されています。ここは海水から濃い塩水（鹹水）を取り、釜で煮詰める入浜式塩田でした。余談ですが、サラリーマンの「サラリ」は古代ローマ語が語源で、サルト（塩）を意味します。昔、労働の報酬にお金でなく、塩をとっていたことに由来するそうです。



鳴門の渦潮

四国霊場と第九

四国八十八カ所の第一番札所・霊山寺も徳島県鳴門市にあります。"一番さん"と親

しまれている靈山寺は、四国八十八カ所巡りの出発点。板東駅から1km足らず、入母屋造りの仁王門をくぐると本堂、多宝塔、多仏堂、大師堂などが建つこじんまりした寺院です。天平年間に聖武天皇勅願の道場として、行基が開基したといわれています。

遍路（靈山寺）



四国霊場は、千年を超える歴史を刻んでいます。この霊場をいつの頃から巡拝したか定かではありません。一宗一派の信者以外に、老若男女を問わず観光バスやマイカーで巡拝する時世となりましたが、霊場巡りのほとんどが鳴門の靈山寺からスタートしています。一番札所になったのは、高野山に近いこと、そして弘法大師に早く逢いたいとお大師様の出身地（香川県）からの逆周りになった等々の説があります。八十八の数字は八十八の煩惱を滅却し、功德を得るといふもの。阿波の一番から二十三番までを発心の道場、土佐の二十四番から三十九番までを修業の道場、伊予の四十番から六十五番までを菩提の道場、讃岐の六十六番から八十八番までを涅槃の道場といえます。四国霊場巡りの魅力は、信仰心からの”お参り”だけでなく、四国各地の自然や文化遺産に触れることにもあります。単なる旅行ではなく、”心の旅路”といえそうです。

鳴門発祥の一つに、ベートーベンの交響曲第九番があります。日本で初めて”第九”が演奏された場所とのこと。場所は鳴門市大麻町にあるドイツ館。ここは、大正3年に始まった第一次世界大戦の際に建てられた建造物です。当時、ドイツの租借地があった中国の青島での戦いで、日本軍に敗れ、捕虜となり、鳴門に収容されたドイツ将兵953人と地元民との交流を記念して建られました。館内には、当時の様子を伝える新聞や写真、使用された日用品など500点余を展示しています。姉妹都市であるリユネブルク市の資料などもあります。捕虜とはいえ、高い文化と教養を持つ彼等は、地元の人にバターやチーズの作り方、園芸栽培、ドイツ式牧場経営、そして音楽などを教え、暖かい交流を残して大正9年帰国しました。鳴門市では、第九の本邦初演を記念して6月1日を「第九の日」とし、毎年6月第1日曜日市民による演奏会を催しています。戦争という異常な環境の下でも、国境を越えて民族の区別無く、人の交流が生まれることを教えられます。

今回は、徳島県鳴門地方の知られざる側面にスポットを当てました。次回は、徳島県の観光や伝統文化について紹介します。

徳島県大阪本部

大阪市中央区南船場3の9の10徳島ビル4階

06・6251・3273

<http://www.pref.tokushima.jp>



遍路（靈山寺）とドイツ館の第九演奏

掲載の記事・写真・イラスト等の全てのコンテンツ無断複写、転載を禁じます。

(株) ファッションビジネス・御堂筋新聞